



# 議会 だより

千早赤阪  
ちはやあかさか

## 特集 会派合同議員研修報告



### 一般質問

**徳丸 初美**

児童の通学路の安全点検を  
新たな直売所の設置を

**服部 幸令**

介護保険の運営は  
小吹台連絡所の方針は

**藤浦 稔**

大阪府及び2町1村の広域連携の  
協議の進捗状況  
農道整備の進捗状況

**田村 陽**

ふるさと納税に本気で取り組もう  
村職員の不祥事について

**井上 浩一**

行政サービスについて  
用水路の維持管理について  
自治会のデジタル化について



## 臨時会 議決結果（令和5年5月12日）

○承認・同意された案件（賛成6人、反対0人・欠席者 平田議員）

議 案 名	説 明
専決処分（工事請負契約の変更締結）の報告について	新庁舎建替工事契約金額の増（575万円）
専決処分（千早赤阪村税条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	地方税法改正に伴う改正
専決処分（令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第2号））の承認を求めることについて	低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業に係る増
監査委員の選任について	井上浩一議員を選任

## 6月定例会 議決結果

○可決・同意された案件（賛成6人、反対0人・欠席者 平田議員）

議 案 名	説 明
令和4年度千早赤阪村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	筆界特定・防犯カメラ設置工事等の繰越の報告（981万円）
人権擁護委員候補者の推薦について	建石和則氏を推薦
農業委員会委員の任命について	農業委員会委員（14名）の任命
一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の改正について	新型コロナウイルスに係る特殊勤務手当の廃止
令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第3号）	新庁舎建設第2期工事費、応援商品券事業費等の増（8795万円）
令和5年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	職員人事異動による増（82万円）
令和5年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第1号）	カラーマンホールの購入費の増（20万円）
府営土地改良事業（広域営農団地農道整備事業岩湧地区）計画の変更にかかる同意について	広域農道（河内長野市域）工事費用の増・期間延長に係る同意
専決処分（工事請負契約の変更締結）の報告について	新庁舎横に設置する備蓄倉庫新築工事に係る増（380万円）
令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第4号）	令和5年6月2日大雨災害復旧費（中学校、村道、封建塔等）等の増（3213万円）
アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書について	アスベスト被害についての研究・開発の促進等を求める
新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書について	新型コロナウイルス感染症の後遺症について、実態調査や医療機関の拡充等を求める
地域のグリーントランスフォーメーション（GX）の促進を求める意見書について	住宅の省エネ化、電力の自給自足への支援強化等を求める
認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書について	認知症サポーター等の育成促進や相談窓口の開設支援等を求める

※金額はすべて千円の位以下を切り捨てたものを記載



村議会議長  
**千福 清英**

6月初旬の豪雨により、200ミリを超える雨量が積算され、村内の各所において土砂崩れが発生した。

気象庁より、大雨警報、土砂災害警報が発表され、村からは全村に避難指示が発令された。同時に避難所が開設され、一部の方が避難されたと報告を受けた。幸いに人的被害が無かったことで胸をなで下ろした。

これからの季節は、一年で一番台風が発生する時期であり、山林の面積が8割を超え、急峻なところが大部分である当村は、台風による土砂災害等のリスクが非常に高いので心配である。

特に支援の要する高齢者の避難においては、地域の協力や呼びかけが必要であり、地域の実情にあった体制づくりも進めなければならない。

一方では、災害に強いインフラを整備する国土強靱化を加速して対策を進めなければならない。災害が発生してからではなく、防災・減災に向けての取り組みが必要であり、声を大きく発していきたい。

## 全員協議会

〔令和5年5月8日開催〕

〔臨時会の提出議案について説明〕

- ・専決処分（工事請負契約の変更締結）の報告について
- ・専決処分（千早赤阪村税条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて
- ・専決処分（令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第2号））の承認を求めることについて

〔令和5年6月14日開催〕

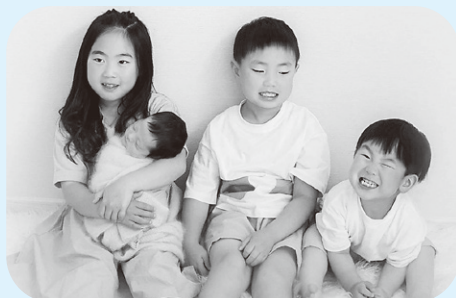
- ・千早赤阪村過疎地域持続的発展計画の変更について
- ・令和5年6月2日の大雨災害による被害状況について

〔令和5年6月20日開催〕

〔定例会最終日の提出議案について説明〕

- ・専決処分（工事請負契約の変更締結）の報告について
- ・令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第4号）

## 今月の表紙



二河原辺

**真瑚** (まこ) ちゃん 6歳  
**真玄** (しんげん) くん 5歳  
**健慎** (けんしん) くん 2歳  
**珠瑚** (みこ) ちゃん 3か月

父 山本 康介  
 母 春菜

4人仲良く、のびのびと  
 元気いっぱい  
 育ってほしいです。

## 議会だより掲載内容の一部訂正について（お詫び）

議会だより「ちはやあかさか」（第144号）の掲載内容について、次のとおり誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

（掲載箇所）2ページ 臨時議会議決結果

	議 案	説 明
○正	令和4年度一般会計補正予算（第13号）	応援商品券事業（53万円） 出産・子育て応援事業（235万円）ほか
×誤	令和4年度一般会計補正予算（第13号）	応援商品券事業（53万円） 出産・子育て応援事業（2350万円）ほか

## 会派合同議員研修報告

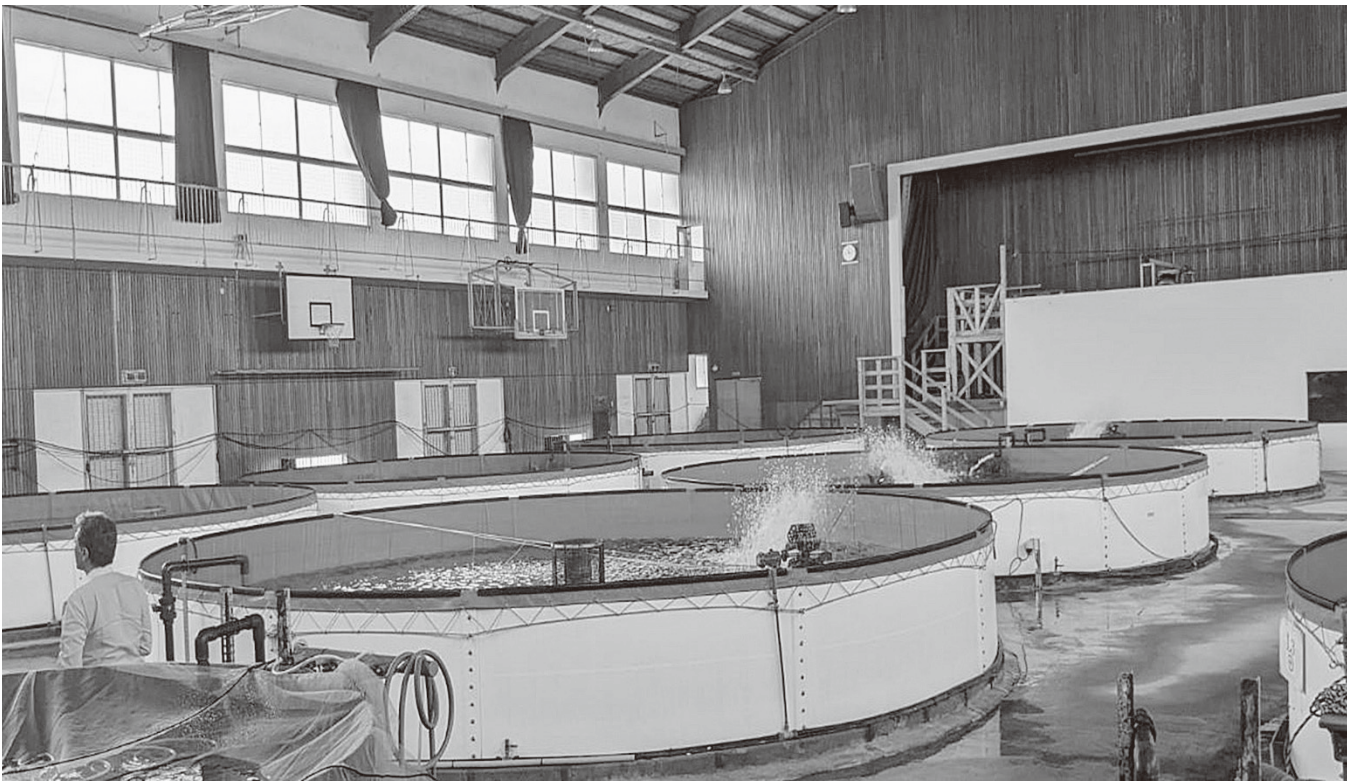
6月27日・28日の1泊2日で会派合同議員研修に行ってきました。

本村は、大阪府内でも高齢化率が高く、特に生産年齢人口の流出が懸念されています。

働く場所の環境を作り雇用を生み出すことが重要と議員で話し合い、今回の研修は本村でも取り組みができそうな陸上養殖を視察させて頂きました。

1日目の視察場所は香川県の「東かがわ・つばさキャビアセンター」。

廃校になった中学校の建物を活用し、校長室が社長室、家庭科室が採卵施設として利用されていました。体育館は床板を撤去し、チョウザメの飼育用の水槽が設置されていました。



体育館内には50 t水槽が9基あり、約10,000匹のチョウザメが飼育されています。

### 陸上養殖とは？

陸上養殖とは、プールや貯水槽等の陸上施設を利用して魚介類の養殖を行うことです。

陸上養殖では、施設の建設や維持にコストがかかりますが、天候に左右されず安定して食料を生産することができ、耕作放棄地や空き施設の有効活用もできます。

2日目の視察場所は淡路島の（株）ジオノーツの「岩屋養殖 LAB」。

水耕栽培と陸上養殖の技術の基礎研究の実験場として、オニテナガエビの育成・稚エビの販売等を行い、他地域への技術提供も行っていきます。



（室内の水槽で飼育されているオニテナガエビ）

建屋の中などで陸上養殖を行うことにより、天候に左右されず安心安全安定して食料を生産することができます。天変地異が多い日本では必要になってくる生産技術として注目されています。



（アクアポニックス農法の設備）

魚介の排泄物をバクテリアが分解し、養分となった水で野菜類を育て、養分を吸収した後の浄化された水で魚介を飼育する循環システム。



写真の中央下段が森田圭一代表取締役、左下は越野信太郎執行役員であり技術開発者。



ジオノーツが開発した水流循環型の水やりと植物専用LEDによる無駄のない光合成により、個々の植物に合った環境を構築。完全管理で、倍速以上の生産力と高効率化を達成しました。安価で最新のシステムであり、約3坪の小スペースで設置可能なことから、空き家の活用にも期待できます。

研修の2日目の午後に、神戸市の「阪神淡路大震災記念 人と未来防災センター」を見学しました。日本は自然災害大国であり、最近は各地で地震の発生が増え、特に関西圏では南海トラフ地震の危険が指摘されています。千早赤阪村でも今後起こりえる災害に備えて、当センターを見学しました。



## 人と未来防災センター

各フロアには、地震発生の瞬間を再現した映像上映や震災直後の街並みを再現したジオラマ模型の他、被災者から提供された震災関連資料展示、防災・減災の知識を身につける簡単な実験装置もありました。



## まとめ

今回の研修は陸上養殖に特化した視察となりました。昨今、和食ブームと相まって、諸外国による、魚介類等の海洋資源の乱獲・減少が問題になっています。SDGs（持続可能な開発目標）の観点からも、日本だけでなく世界各地で、陸上養殖の研究、開発、施設の設置が進んでいます。養殖される魚介類の種類も日々増加しており、ソフトバンク、NTTグループ、JR西日本等の企業も陸上養殖事業に出資しています。

今回の研修先の代表者や技術者の方々は、千早赤阪村のことをご存じて、「視察の申し込みが多く、断っているところもあるが、千早赤阪村と聞いて視察を受け入れた」との温かいお言葉を頂くことができました。千早赤阪村に来て講演や技術指導をします等のお言葉を頂き、とても有意義な会派合同研修になりました。



徳丸初美 議員

## 問 児童の通学路の安全点検を

## 答 赤阪小・千早小吹台小で年3回の安全点検を行っている

**問** 子どもたちが安全に通学できるよう白線の引き直しや、学童通学注意の文字を道路に書き込む、立て看板を立てる、速度規制標識など対策が必要と思われるが村の対応



中学校通学路の雑草状況

応を伺う。

**答** 児童の通学路は赤阪小学校・千早小吹台小学校の両校で、年3回の安全点検を行っている。

村道の白線については舗装の打ちかえなど維持修繕の中で対応していく。

注意喚起の路面表示や立て看板は今後検討していく。

速度規制標識については、警察など関係機関に相談していく。

**問** 歩道で砂利が被さつ

たり草が生えてるため車道を歩かなければいけない所もあり危険である。この点について伺う。

**答** 通学路については教育委員会と産業建設部と連携しながらやっていく。

府道は富田林土木と連携をとり、要望の方は府道に対して行っている。

**要望** 子どもたちは千早赤阪村の宝である。

子どもたちが安心安全



村道 水分・延命寺線

に通学できる通学路の整備を事故や事件が起こる前に一日も早く実施してほしい。

### 新たな直売所の設置を

**問** 直売所が廃止になり農産物の出荷に困っている生産者がいる。

村として直売所をつくる計画があるのか伺う。

**答** 新たな直売所については、仮称楠公誕生地周

辺エリア地域活性化交流拠点整備事業を進める中で設置を検討する。

**問** 計画を立てているのであれば、より多くの村の方が出せるようにと思う。この時に道の駅を大幅にリニューアルするというのも考えているのか伺う。

**答** 道の駅とその他の施設についても、その検討を進める中で併せて検討していきたい。

**要望** 遊休農地を増やさないためにも野菜作りを続け、出品することで楽しみを見つけていけるよう、道の駅がリニューアルすることを望む。

良い意味で道の駅が変われば新聞やマスコミに取り上げられプラスの効果が生まれる。小さな村だけでもこんなに頑張ってますと宣伝になり、出品した人は出した物が売れることでもっといい物を作ろうという相乗効果につながると思う。



## 大阪府及び2町1村の広域連携の協議の進捗状況



### 合併も視野に「南河内地域2町1村未来協議会」を設置



藤浦 稔 議員



南河内地域2町1村未来協議会

**問** 令和4年3月議会と9月議会で、広域連携の取り組みについて質問した。

今後の進捗状況と具体的な取り組みについて伺う。

**答** 大阪府と3町村が共同して、町村が将来にわたって持続的かつ安定的に住民サービスを提供できるように「南河内地域2町1村未来協議会」を5

月に設置した。まずは、令和6年度採用に向け職員採用試験を3町村共同で実施する。

**問** この協議会の協議事項として、合併に向けた議論もしていく予定なのか。

**答** 3町村で連携を深めつつ広域連携に取り組み自立できる村づくりを進めていく必要がある。

そのうえで議会や住民と課題を共有し、合併も視野に入れたオープンな議論を行っていく必要があると考えている。

**問** 村長は個人の見解としてではあるが、「将来的な合併の議論は避けられない」と発言しているが。

**答** 将来的な合併を視野に、自立した村づくりを行っていくかなければならない。

そのためには職員一丸となって、強い村づくりを進めていく。

**要望** 合併の検討をして

いく中では、対等の立場で村民の生命・財産を守ることを第一に考え、議論されることを要望する。

### 農道整備の進捗状況

**問** 昨年12月議会で「平政会」派から、「農業水産業費の予算額が低いことを指摘し、農業支援の拡充を求めた」ことで、大幅な増額となり2千万円を計上された。

しかし3月議会では、農道整備の場所や規模など具体的には「検討中」とのこと。農家の方々も注目している事業であり進捗状況を伺う。

**答** 事業内容は、単なる農道の維持補修ではなく農道の新設や拡幅などを考えている。

まずは、村道桐山1号線に接続する新たな(仮称)東田農道の整備案が示されている。



(仮称) 東田農道予定地

**問** 農道整備には、農地の提供が必要となるが、交渉や農道ルートは村がするのか。

**答** 用地の交渉は、地区で、ルート調整は、村も同席していく。

**要望** 桐山地区は以前に「ほ場整備」の計画が実

現しなかった。用地の無償提供の交渉は地区に任せるなど地区と村が連携し事業を進めていくことを要望する。





## 井上浩一議員

# 問 行政サービスについて

## 答 多様な関係者との連携・協力が重要

**問** 日常の買い物に困る人が増えている。特に、世帯の多い小吹台地区でも、利便性の良い施設がないのが現状だ。行政としてどう考えるか。

**答** 村全体の課題と考え



用水路の状況

**答** 現在、バス・タクシー利用助成を実施。移動販売等も行われている。今後、地域性等考慮し、地区等と連携し、検討していく。

**問** 施策の成果は認められていない。現在の事業は協働的ではないと感じる。包括的な行政サービスについてどう考えるのか。

**答** 民間企業やNPOなど、多様な関係者との連携・協力が重要と認識す

**答** 状況は承知しているが、現状を維持する。 **要望** 現状、地域の力と公的な支援が相まって、というような状況ではない。住民に寄り添う努力を願う。

### 用水路の維持管理について

**問** 以前にも質問した農業用水路の維持管理について、現状と隣接自治体との連携を伺う。

**答** 水利組合等で管理している。現在、管理者や連絡先について、状況把握をしている。補修等に

**答** 状況は承知しているが、現状を維持する。 **要望** 世論も変化してきていると考える、しっかりと対応願う。

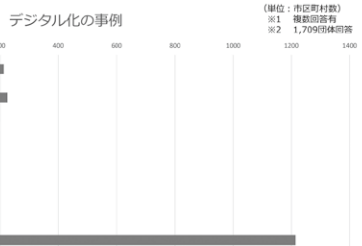
### 自治会のデジタル化について

**問** 自治会等の地域コミュニティが弱体化している。社会環境が急変する中、自治会等の役割は大きい。デジタル技術の活用も含め、考えを伺う。

**答** 見直しの時期と感じる。行政との連携は不可欠、今年度より、区長会を増やす等している。デジタル技術についてはスマートフォンが重要と考える、スマホ道場等を行い、強力なツールとしていきたい。

**問** 古い慣習による制度では限界ではないのか。公共の施設として、非農家の受益負担や小水力発電等に活用は出来ないのか、考えを伺う。

**問** 誰でも簡単に活用できる、バリアフリーが目標だと思うがどうか。また、地域コミュニティは、多様な人材や組織が連携し共助の仕組みを作



市区町村が把握している自治会のデジタル化状況



## 介護保険の運営は



## 介護保険事業計画を令和5年度中に策定していく

### 介護保険事業介護給付費準備基金

令和元年度末現在高	152,728,456 円
令和2年度末現在高	190,848,659 円
令和3年度末現在高	170,891,011 円
令和4年度末現在高	170,930,703 円

※ 令和4年度は決算見込み額

**問** 現在の高は、令和4年度末現在高は170,930,703円と、令和3年度末現在高170,891,011円と比べて、約40万円増えています。これは、高齢者自身による日頃の散歩等の健康維持の努力や本村の介護予防事業等、官民一体での取り組みの成果だと思われ、今後の介護保険の運営において、料金の策定はどのように行うのか伺う。

**答** 介護保険は、被保険者の要介護状態又は要支援状態に関し、必要な保険給付を行うもので、65歳以上の人の介護保険料は、3年ごとに策定する介護保険事業計画に基づき改定する。

**問** 保険料の策定は、いつ頃行われるのか伺う。

**答** 令和6年度が改定の時期にあたり、令和6年度から令和8年度の3年間で、必要な介護サービスの総費用や、認定者及び65歳以上の被保険者の見込み数を踏まえ、保険料設定等を取りまとめた介護保険事業計画を令和5年度中に策定する。

**問** 介護保険事業介護給付費準備基金の現在高はいくらか伺う。

**答** 現在高は、令和4

年度末決算見込みで1億7千93万703円になる。

**要望** 少子高齢化がますます進むことが指摘されており、介護保険料も上がる可能性がある。引き続き介護予防事業等に取り組んで、保険料の引上げを抑制することを要望する。

**問** 千早赤阪村広報6月号に、小吹台連絡所開所日の縮小についての記事が掲載された。

記事の中には、建物の老朽化や業務効率の向上、職員の適正配置という観点を踏まえ、今後の在り方について検討するとあった。

**問** 今後の方針を伺う。

**答** 小吹台連絡所については、7月から開所日数の縮小を施行し、その結

果を踏まえて、今後の対応を検討する。

**要望** 小吹台連絡所関連の縮小実行アンケートの結果をもとに、住民サービスが低下しないよう努めることを要望する。



小吹台連絡所

掲載記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



## 服部幸令 議員



## 田村 陽議員

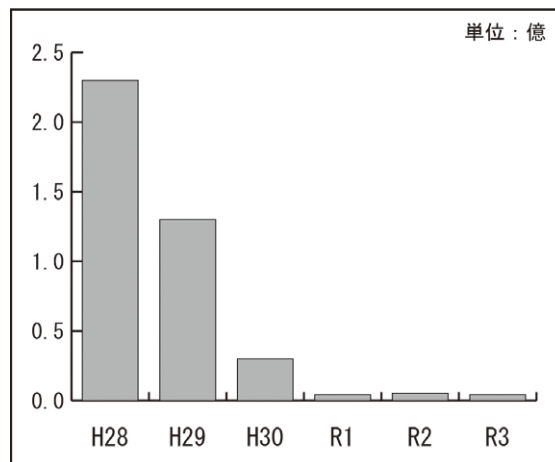
# 問

## ふるさと納税に本気で取り組もう

# 答

## 地域住民や事業者の機運醸成を図る

**問** 令和3年度のふるさと納税額は全国で8300億円を突破し、史上最高額となった。全国市町村の平均は4億7千万円、町村の平均でも2億7千万円を超えている。ところが、本村のふる



村ふるさと納税額の推移

順位	町村	寄付金額
1	熊取町	7.8 億
2	忠岡町	2.2 億
3	島本町	1.3 億
4	太子町	1.1 億
5	田尻町	4000 万
6	豊能町	2500 万
7	河南町	2000 万
8	能勢町	1700 万
9	岬町	900 万
10	千早赤阪村	600 万

大阪府下10町村の寄付金額 (R3)

**答** 株式会社ぐるなびと協定を締結し、地域の食の魅力・課題等の分析、返礼品の開発、村内商品等の販売支援、情報発信などに取り組んでいる。

**問** さと納税額は、最大2億円から600万円にまで落ち込んでおり、大阪府下で最下位、全国でも1741件中1642位とほぼ最下位水準だ。ふるさと納税で多くの寄付金を集めることができれば、住民サービスも大きく拡充することができるはずだ。

**問** 他市町村では、地域商社を展開し、成功している事例もある。

**答** 地域自ら地域活性化に取り組み機運が醸成されていかない。地域住民や事業者の機運醸成を図り、村にとって最適な方策を検討していきたい。

**要望** 全国では年間100億円を超える寄付金を集める自治体もある。我々としても本気で追求していかなければならぬ。

村長には前例のない思

### 村職員の不祥事について

**問** い切った一歩を踏み出してもらいたい。

**問** 5月21日、教育委員会職員が迷惑防止条例違反の疑いで逮捕されるといふ事案が発生した。当該職員は本村でも教鞭をとっており、児童たちへの影響も強く懸念される。

**答** 教育委員会としてのどのように捉えているのか。児童・生徒・学校関係者並びに住民の皆様

**答** 児童・生徒・学校関係者並びに住民の皆様

係者並びに住民の皆様の信頼を失うこととなり深くお詫びする。教育に携わる者としてあってはならないことであり、大変遺憾に存じている。

**問** ショックを受けている児童もいると聞いている。児童への影響についての対策は。

**答** 事件発覚後速やかに大阪府へスクールカウンセラー・スーパーバイザーの派遣を依頼し、教員等への指導・助言等を行ってもらった。

**要望** 教育関係者の逮捕は教育自体への信頼を揺るがしかねない。村としても一層の信頼回復に努めるよう要望する。

# ぎかいの窓

6月議員協議会で、議会のペーパーレス化について説明があった。

昨今、多くの自治体が会議などの資料を減らす取り組みとして会議資料のペーパーレス化を積極的に進めている。

ペーパーレス化は、確かに紙資料が減ること、職員による資料の印刷・製本・配架等に要する時間の削減、また資料の差し替えなどの手間も軽減される。村職員にとっては有益な点も多いようだ。村議会では、導入するか否かは、



ペーパーレス化デモンストレーション

次年度以降の検討ではあるが、どのようなものか体験型で説明していただいた。普段からスマートフォンを使用しているので、操作そのものは理解できた。

しかし、いざ導入となると、タブレット端末の購入、会議システムの導入など、当然それ相当の経費もかかるであろう。ここは慎重に議論を重ねたい。

さて、新庁舎は、思っていた以上にコンパクトで機能的ではあるが、どの階も少し高めのカウンターに覆われて職員の顔が見えないときがある。実は、カウンターに見えるが書類を収納するためのロッカーなのだ。このロッカーは常時使用するものを中心として保管されており、過去の書類は、他の場所でも保管されている。議会の資料でも、年間通じれば、ロッカーを埋め尽くしてしまうであろう。

村長はデジタル化を推奨されている。是非、まずは執行機関から紙資料をデジタル化するようにお願いしたい。そしてあの高いロッカーを少しでも減らしてほしい。住民は窓口で元気な姿で執務をしていてくれる職員を見ればそれだけで安心するのである。議会とともに是非ペーパーレス化に取り組みでもらいたい。

## 議会を傍聴しませんか



### 次回定例会の予定

9月5日(火)から9月22日(金)です。		
9月5日	本会議	午前10時
9月8日	決算特別委員会	午前10時
9月12日	文教建設常任委員会 総務民生常任委員会	午前10時
9月22日	本会議(一般質問)	午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。

傍聴される場合は、議会事務局までご確認ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

議会事務局は保健センター2階

議場は3階集団指導室兼議場

## 雑感

千早赤坂村を代表する英雄といえは、楠木正成・正行親子の名前がすぐさま挙がることと思いますが、彼らの後を継いだ楠木正儀まさのりという人物をご存知でしょうか。

楠木正儀は正成の三男で、正行の弟にあたる人物です。正行亡き後、40年ほど楠木氏の棟梁として活躍しました。その活躍は父・兄に勝るとも劣らずで、南朝の総大将として実に四度も京都奪還に成功しています。

その華々しい活躍にも関わ

らず、正儀がほとんど注目されて来なかったのは、彼が南朝から北朝に寝返ったことによりです。

しかし、彼が北朝へと渡ったのは、北朝との和平を画策していたからです。戦争を終結させようとした正儀の行動は、現代を生きる我々にはもっと評価されてしかるべきものではないでしょうか。

正儀の墓所は千早本道の途中にあります。金剛登山の際にはぜひお参りいただき、楠木正儀というもう一人の英雄に思いを馳せていただきたいと思います。

田村

## 広報編集委員会

委員長	服部幸令	副委員長	田村 陽
委員	井上浩一	委員	徳丸初美
議長	千福清英		